



株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント

急成長する音楽配信ビジネスの強化へ 新システムで生産性を飛躍的に向上 業務フローの改善や自動化で処理能力が3倍に増加

■要件

音楽のネット配信ビジネスが急成長する中、業務フローの改善や自動化などで音源・画源データをタイムリーに加工して提供する。配信市場の伸びに合わせて、生産性を大幅に上げる必要があった。

■ソリューション

音楽CDのパッケージ用デジタルマスタとネット配信用マスタを統合管理できる新システムを構築する。グループの基幹システムと連携することで相乗効果を生み出すとともに、業務フローのあるべき姿をシステム化する。

■成果

音源・画源のデジタルマスタを大容量・高速ストレージで整理できたほか、データ変換業務の自動化が進んだ。その結果、市場へ投入するタイトル数が以前に比べて約3倍に増加するなど、生産性が飛躍的に高まっている。

急成長するネット配信の強化へ デジタルマスタの統合管理を検討

携帯音楽プレイヤー向け配信や「着うた®」をはじめとする携帯電話向け配信など、インターネットによる音楽配信サービスが急成長している音楽業界。統括会社のソニー・ミュージックエンタテインメント(SME)を中心に、音楽・映像コンテンツ制作などの多彩な事業を展開するソニー・ミュージックグループは、早くからその可能性に着目し、配信ビジネスを展開してきた。

しかし、音楽配信事業は競争も激しい。同グループは音楽CDなどのパッケージ製品で確立したビジネススキームを、他社に先駆けて音楽配信事業でも構築することで、一段と競争力を強化する必要があった。

課題の一つは、音源・画源といったデジタルマスタを管理するシステムだったという。

ソニー・ミュージックコミュニケーションズで音源・画源のデジタルマスタを管理する制作技術本部 録音部 技術課 エンジニアの野口素誠氏

は「事業の急激な成長に対応するため、デジタルマスタやそれに付随する各種データを一元管理し、タイムリーに配信先へ提供できる仕組みを求めていました」と語る。

同グループでは、従来から音源・画源データをデジタル化して保管していたが、CDなどのパッケージ製品を作ることを前提とする管理システムを利用して、特定の音源の一部を配信用のデータ形式に変換して提供するなどの処理が必要である。これにはデータ形式変換システムを別途用意して対応したが、デジタルマスタを手渡しするなどの煩雑な作業が発生していた。今後予想される配信数の増加に対応するには、膨大なデジタルマスタから音源・画源を正確・効率的に取り出すとともに、配信用データ形式への変換や管理データの付与といったオーサリングまでを一続きに処理するシステムが理想的だ。

また、同グループはデジタルマスタ管理システムと基幹業務システムとを連携させ、配信事業のビジネス

スキームをグループ全体へ展開することも検討していた。

グループのサポートおよびサービス業務を担うソニー・ミュージックアクシスの情報システムグループ 情報システム部 情報システム課の佐久間慶典氏は「基幹システムなどとの連携によって、音楽タイトルなどの文字情報を配信データに自動付与するなど、革新的な仕組みを目指していました」と語る。

業務知識が豊富なNSSOLに 新システム構築をトータルに依頼

そうした目標の実現に向け、同グループは新しいデジタルマスタ管理システムの構築パートナーとして、新日鉄ソリューションズを選ぶ。

野口氏は選定理由を「以前からSMEのポータルサイトや音楽配信サイトの構築を担うなど、ネット配信事業や当グループの業務に対する深い知見を持っていました」と語る。

新システムの設計が始まったのは2006年11月ごろである。別途進めていた新基幹システムの完成に合わせ



株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズ
制作技術本部
録音部 技術課
エンジニア
野口 素誠氏



株式会社ソニー・ミュージックアクシス
情報システムグループ
情報システム部
情報システム課
佐久間 慶典氏

株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント
本社：東京都千代田区六番町4-5
創業・設立：1968年、2003年（新設分割）
資本金：1億円（2009年3月31日現在）
売上高：ソニーミュージックグループ連結1669億円（2009年3月期）
従業員数：ソニーミュージックグループ計約1500名（2009年3月31日現在）

て、稼働時期は2007年4月1日に決まる。新日鉄ソリューションズの提案をベースに、約5カ月という短工期でシステム構築を進めた。

新日鉄ソリューションズはソニーミュージックグループに対する業務知見に基づき、効率的に要件をまとめた。インフラ構築では、メーカー中立の立場から主要各社の製品を比較・検討。最も費用対効果の高いものを選択する。アプリケーション開発では、データ管理体系や部署間の業務フローなどでの同グループ固有の要件をきめ細かく盛り込んだ。

新システムの業務フローは、既存のオペレーションではなく、あるべき姿を描き、それに基づいて決めたという。従来、手渡ししていたデータはシステムで転送するとともに、権利情報を正確にチェックできるようにした。

基幹システムとの連携方法では、数時間にわたる会議がよく開催され

た。佐久間氏は「新日鉄ソリューションズの担当者は、われわれといっしょに悩み、運用を考慮した提案をしてくれました」と振り返る。

計画通りに新システムが稼働 膨大なマスタを短時間で検索

2007年4月、計画通りに音源・画源ストレージシステム「MAIDS」は稼働する。新システムは、デジタルマスタを一元管理する「デジタルマスタ管理システム」と、手作業だったオーサリングを自動化する「オーサリングシステム」から成る。

成果は非常に大きい。このシステムでは、膨大なデジタルマスタを短時間で検索してデータを取得し、す

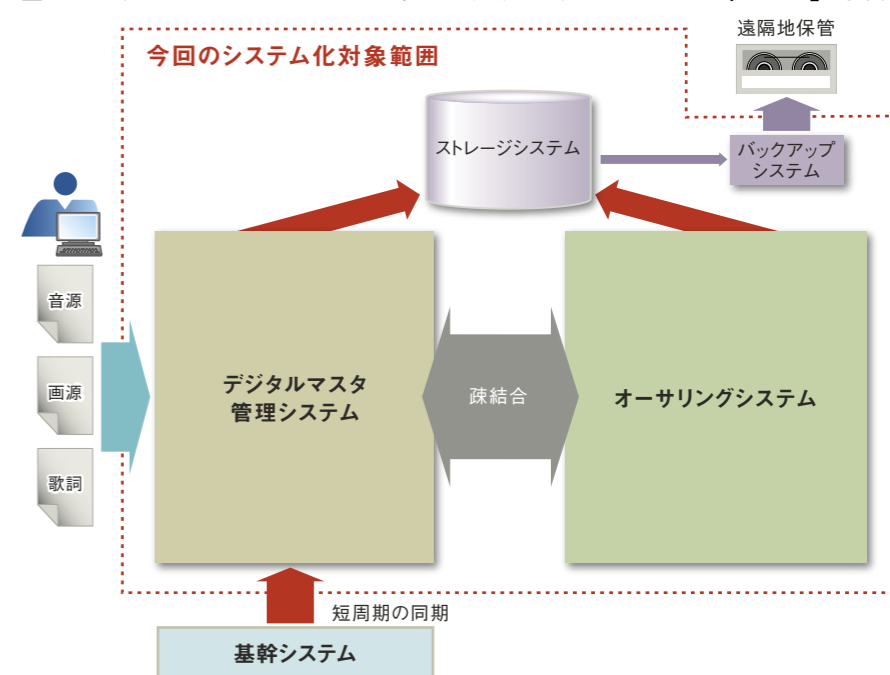
ぐオーサリング作業に入れるようになっている。その結果、一定期間に市場へ投入できる配信タイトル数が従来の3倍に増加したという。

また、基幹システム/デジタルマスタ管理システム/オーサリングシステムの三つが連携することで、業務全体の効率化が実現した。

システムは、新日鉄ソリューションズのアプリケーション保守サービスによって改良・拡充が続いている。

野口氏は「新しい音楽配信用のデータ形式が登場したり、携帯の新機種が発売されたりするなどで、配信事業の環境はすぐ変わります。変化を追いかけるには、継続的な改修が不可欠です」と語る。

■ソニー・ミュージックエンタテインメントが導入した音源・画源ストレージシステム「MAIDS」の概要



■コアテクノロジー
顧客業務に対する広範な知見、確実なプロジェクト実行、顧客との調整能力、Java/Perl/ASP.NET、Oracle、AP開発・インフラ選定・導入を一体実行

■システム概要
●サーバー：APサーバー×9、DBサーバー×1、NFS/CIFSサーバー×1、大容量ストレージ×1、
●ミドルウェア：Oracle Database、Apache、Tomcat
●クライアント：Windows/Mac OS (約100名)
●アプリケーション：デジタルマスタ管理、オーサリングシステムなど